(子供)

資本家のゴマカし「安全週間」を「闘争週間」へ！

昨年から今日迄「安全週間」で今年も又資本家共は一切々ブルジョア根性を働かして「怪我は心のゆるみから」を宣伝して廻われ、労働者をゴマかさうとしてゐる。餘な設備もしてない工場で十時間も十二時間もブッ通しに働かせておきながら怪我をすれば労働者の「心のゆるみ」からなんだとぬかす。安い賃銀で三度の飯も満足に食へず夜も碌々と眠れなくてそれで病気にかゝるのも又労働者の「心のゆるみ」からなんださうだ。そんなべら棒な話があるもんか。労働者が怪我をしたり病気になるのはみんな工場設備が不完全だったり労働時間が長かったり賃銀が安い為にあるのに資本家のせいだ。資本家はこれを一切労働者の責任にして怪我人病人を出させて搾取する

だけ搾らうと言ふのだ。それが「安全週間」だ。労働者はそんなゴマカし週間には大反対だ。現在労働者の生活は時間延長、賃銀値下、馘首等の狂暴な資本攻勢によって極度の不安に脅かされており、到る処の工場に不平が満ち溢れてゐる。だから全ての労働者の痛切に要求するものはそんな安全週間ではなく最低賃金の制定、八時間労働日、健康保険の即時実施、工場設備の改善、馘首反対等々の具体的な日常的要求を獲得する事だ。長い労働時間、安い賃銀、非衛生的な工場や寄宿舎の設備をすっかり改めろ！！これが労働者の要求であり、それをするのが本当の安全週間なのだ。資本家のゴマカし週間を労働者の要求獲得の闘争週間へ！！

今後は左のことを實行されたし